

年 組 名前:

名作絵本の原画楽しむ

県立美術館特別展が開幕

山梨県立美術館の特別展「宮城県美術館所蔵 絵本原画の世界2022」が16日、甲府市貫川一丁目の山梨県立美術館で開幕した。山梨日日新聞創刊・山日YBSグループ創業150周年記念事業。福音館書店の月刊「こどものとも」に掲載された「ぐりとぐら」の原画など、34作家の51タイトルから354点が展示されている。

「こどものとも」は、子どもたちに上質な美術体験を与える絵本を生み出そうと1956年に創刊された。洋画家や日本画家、彫刻家、デザイナーなどさまざまな分野の第一線で活躍する作家たちが、



思い思いの手法や可能性を試しつつ心を込めて描いた名作

絵本の原画に触れる貴重な機会となる。

今展には、山梨県立美術館が所蔵するミレーの「種をまく人」にちなみ、絵本作家山脇百合子さんの「そらいろのたね」の原画も展示されているほか、林明子さんの「はじめのおつかい」のラフスケッチや、中谷千代子さんの「かばくんのふね」の未使用原画なども並んでいる。

初日から家族連れらでにぎわった。神奈川県横浜

16日始まった絵本の原画が並ぶ特別展。初日から親子連れなどが来場していた。甲府・県立美術館

市から家族4人で訪れた三ツ谷昌恵さん(41)は「手描きの質感がよく伝わった。自分が子どものころから親しんでいた絵本の原画が見られて感動した」、悠守さん(11)と渚さん(8)は「ぐりとぐらの絵がかわいかった」と話していた。

写真撮影できるスポットもあり、一緒に記念撮影する来館者も多かった。特別展は8月28日まで。

〈村上裕紀子〉

(2022年7月17日付 山梨日日新聞 21面)

問1

絵本「こどものとも」は、

どのような考えで

創刊されたのですか。

.....

.....

.....

.....

.....

問2

次の作家の、展示されている原画などの作品名を

教えてください。

- ・ 山脇小百合
- ・ 林明子
- ・ 中谷千代子

問3

あなたの思い出に残る絵本や、今でも好きな絵本があれば、たくさん書いてください。

.....

.....